

平成 21 年 8 月 12 日版 境 武志
平成 21 年 8 月 20 日修正 境 武志
平成 21 年 9 月 3 日修正 森 芳孝

日本加速器学会 第 6 回日本加速器学会年会（原子力研究開発機構）
ビーム物理領域世話人会議事録

日時：2009 年 8 月 6 日(木)12 時 30 分～13 時 30 分

場所：原子力研究開発機構 原子力科学研究所 研究 1 棟 2 階第 6 会議室

出席者（敬称略）：鎌田（領域代表）、浜、小方、栗木、井上、中村、岡本、柏木、浦川、想田、岩下、
佐藤、森(芳)、森(道)、境

司会：森 芳孝、書記：境 武志、森 道昭、佐藤政則

(内容)

- I. 前回議事録確認
- II. 日本物理学会第六十五回年次大会（岡山大学 3 月 20 日～23 日）
ビーム物理領域の企画について
 - A. 開催方針とキーワードの提出について
 - B. 第二キーワードの追加について
- III. ビーム物理研究会の活動全般について
 - A. 次期ビーム物理領域世話人の選出について
- IV. その他

I. 前回議事録確認の確認

別添に沿って確認が行われ、承認された。

II. 日本物理学会第六十五回年次大会（岡山大学 3月20日～23日）ビーム物理領域の企画について

A. 開催方針とキーワードの提出について

2009年9月4日(金)までに開催方針とキーワードの追加提出、合同セッションの決定を行う必要があり、年次大会までの今後のスケジュールおよび、前回の開催方針、キーワードに関して説明がなされた。

第65回年次大会関連の今後のスケジュール

1. (9月4日) 開催方針、キーワード加筆・変更・訂正期日
2. (会誌10月号) 招待講演、規格講演、シンポジウム企画募集掲載
3. (会誌11月号) 講演募集要項掲載
4. (10月10日) 次期世話人選定締め切り期日
5. (10月9日～11月17日) 招待講演、規格講演、シンポジウム企画申込期間
6. (11月6日～11月20日) 一般公演申し込み期間（郵送）
7. (12月11日) プログラム編集会議
8. (1月上旬) プログラム初校校正
9. (1月上旬) プログラム暫定版 Web 公開
10. (1月22日) 講演概要集原稿締め切り
11. (12月下旬) 座長依頼発送
12. (会誌3月号増刊) プログラム掲載

昨年度の開催方針とキーワード

○ビーム物理領域：素粒子実験領域

ビーム物理領域と素粒子実験領域は合同セッションを設ける。合同セッションとする講演は、希望状況を考慮し、世話人の判断において決定する。

○ビーム物理領域：実験核物理領域：素粒子実験領域

ビーム物理と実験核物理領域、素粒子実験領域は「J-PARCと原子核素粒子実験」に関する合同セッションを設ける。合同セッションとする講演は、希望状況を考慮し、世話人の判断において決定する。

○ビーム物理領域：領域1（量子エレクトロニクス分野）

ビーム物理領域（キーワード：自由電子レーザー、放射光、ERL）と領域1（量子エレクトロニクス分野、キーワード：高強度レーザー、X線レーザー、超短光パルス、超

高速現象)は合同セッションを設ける。希望者は、それぞれ分野・キーワードを選択し、要旨欄に「ビーム物理領域合同」あるいは「領域1合同」と記入すること。記入のない場合でも世話人の判断において合同セッションとすることがある。

○ビーム物理領域(ビーム基礎分野):領域2(プラズマ基礎・プラズマ応用分野)

ビーム物理領域(第2キーワード:粒子ビーム、ビーム・プラズマ相互作用、加速原理、ビーム源)と領域2(第2キーワード:高エネルギー密度プラズマ物理)とは「レーザー・プラズマ加速」及び「高エネルギー密度プラズマ物理」の合同セッションを設ける。合同セッション希望者は、それぞれ分野、キーワードを選択し、要旨欄に「領域2合同」あるいは「ビーム物理領域合同」と記入すること。記入のない場合でも世話人の判断で合同セッションとすることがある。

キーワード

○第一キーワード

(1)ビーム基礎、(2)ビーム応用、(3)加速器科学

○第二キーワード

(10)粒子ビーム、(11)加速器、(12)非中性プラズマ、(13)ビームダイナミクス、(14)自由電子レーザー、(15)ビーム・環境体相互作用、(16)ビーム・プラズマ相互作用、(17)ビーム・レーザー相互作用、(18)異種ビーム相互作用、(19)空間電荷効果、(20)イオントラップ、(21)ビーム蓄積リング、(22)放射光、(23)加速原理、(24)ビーム冷却、(25)ビーム不安定性、(26)数値解析・シミュレーション、(27)電場計算法、(28)ビーム源、(29)ビーム診断・制御、(30)高周波生成、(31)物質・材料開発、(32)生命科学利用、(33)医療用装置、(34)医学物理、(35)消滅処理・慣性核融合、(36)エネルギー回収型線形加速器(ERL)、(37)その他

春の企画に関して

- ・例年シンポジウムは2~3件であり、前回はノーベル賞合同シンポジウムを除けば3件。
- ・前回提案されて、まだ実地されていないものは「ビーム冷却」、「KEKBアップグレード」、「医療」の3件
- ・シンポジウムは、2~3件を行うことで確認された
- ・領域2(プラズマ基礎・プラズマ応用分野)との合同セッションは、前回の領域2世話人会にて、基本的に毎回合同セッションを行う方針となった。
- ・前回、領域10から合同シンポジウムに関して話がある旨が説明され、医学系セッションとして、領域10へ合同セッションを持ちかける事となった。
- ・セッションとしては、兵庫県立粒子線治療センター、岡山大医学部、中性子治療、川崎医大、SPring-8の医応用などでセッションをまとめるなどの意見が出された。ただし、医療関係は、上坂氏に相談してみる事となった。

- ・ KEKB アップグレード、XFEL、ERL に関して、物理学会は、ユーザーが多く出席するので、加速器学会よりもアピールができ、効果があるのではないかなど意見が出された。
- ・ 領域 2 以外の合同セッションの進め方に関しては、開催方針に入っているが、講演が出てきたら行うことで了承された。
- ・ 若手奨励賞の表彰は例年通り行い、春の学会で（分科会になっても）必ず行うことが報告された。
- ・ 各講演、セッションのプライオリティ及び担当者を以下のように決め、了承された。
 1. KEKB アップグレード (Super KEKB 関連) (担当：佐藤氏)
 2. 次世代放射光源の新展開 (XFEL 関連) (担当：中村氏)
 3. 医療、上坂氏に相談の上決める
 4. ビーム冷却は、次々回以降に回す。

合同セッション担当者

領域 2 (森道昭氏)

領域 10 (森芳孝氏)

B. 第二キーワードの追加について

- ・ キーワード数に制限が無さそうなため（規定が書かれていないのと、領域 1 では 75 個も有るため）、身近な言葉への変更や追加に関して意見がなされ、議論された。
- ・ キーワード登録締め切りが近いと、今回の世話人会内で暫定版を決め、最終的に世話人内のメーリングリストで決める事が了承された。
- ・ 追加、削除、議論されたキーワードは以下の通り。
 - プラズマ加速
 - ビーム・ビーム相互作用 ((18) 異種ビーム相互作用を削る)
 - 数理ビーム力学
 - ビーム理論
 - 電子顕微鏡
 - ビーム原子炉相互作用
 - (ビーム) コライダー
 - (36) エネルギー回収型線形加速器(ERL)を ERL(エネルギー回収型線形加速器)
 - アンジュレーター
 - 挿入光源
 - ウィグラー
 - 静電加速器
 - サイクロトロン
 - シンクロトロン

- FFAG
- AMS (年代測定)
- 医学応用
- 加速器駆動炉
- 中性子光学
- ミューオン
- ビームロス
- 線形加速器
- (35)消滅処理・慣性核融合を分け、消滅処理を ADS に変更
- イオン源
- 電子銃
- 偏極ビーム
- 中性ビーム

III. ビーム物理研究会の活動全般について

A 次期ビーム物理領域世話人の選出について

1. 境氏の後任(任期 2010.5~2011.4)の世話人候補として、京都大学化学研究所先端ビームナノ科学センター粒子ビーム科学の想田 光氏が推薦され、満場一致で了承された。現在の世話人体制は以下の通り。

期間	世話人
2008年5月 - 2009年4月	佐藤 政則
2008年11月 - 2009年10月	森 芳孝(現)
2009年5月 - 2010年4月	境 武志(現)
2009年11月 - 2010年10月	森 道昭
2010年5月 - 2011年4月	想田 光

世話人任期前の半年は見習いとして、任期後の半年はアドバイザーとして参加

IV その他

韓国のポハンでビーム物理研究会を開催することで進んでいたが、2009年9月7日(月)~9月11日(水)に中国の西安で Ultra-Short Electron & Photon Beams: Techniques and Applications (<http://ultrashort.ep.tsinghua.edu.cn/>) (上坂氏プログラムチェア) が行われることになった。今年は難しいため、来年度に韓国と共同で開催したい旨が報告された。

若手奨励賞は複数の応募が有り、浜選考委員長へ渡し選考中のため、今はまだ公表ができない段階である旨が報告された。

次回のビーム物理領域インフォーマルミーティング（ビーム物理研究会総会）は、2010年3月20日～23日の日本物理学会第六十五回年次大会（岡山大学）中に開催する。

以上